



講師・鈴木了二：鈴木了二建築計画事務所主宰。1973 年より建築・絵画・映像等を含む全ての自身の作品を「物質試行」として発表、現在までに 58 にのぼる。映像に関しては 2013 年の著書『建築映画 マテリアル・サスペンス』（LIXIL 出版）の出版以来、「建築映画」という概念を提示、建築と映像の新しい在り方を模索し続けている。[撮影 北村光隆]

『建築映画 マテリアル・サスペンス』
(LIXIL 出版, 2013) より

建築と映像の交差点

建築映画に気付くということは、物語や意味を中心に据えた従来の映画の観方、語り方から自

由になることだ。……極端に言えば、人間にのみ奉仕する「有用性」という束縛から建築が

離脱する捉え方・語り方を獲得することだ

マテリアル・サスペンスは……あえて言葉にすれば、スクリーンを破綻させかねな

いほどまでに物質感が横溢し、映像が毛羽立っているような感触

今年度から開催する新しい美術館講座「映像の可能性」の第 1 回です。映像に造詣が深く、自らも映像作品の制作を手がける建築家・鈴木了二氏を講師に迎え、同氏の制作した映像作品の参考上映を交え、建築／映像という領域を横断しながら議論します。映像の今日的な可能性を問う未来志向の充実したプログラムです。参考上映：《物質試行 35:空地・空洞・空隙》(16mm/20 分/1996)、《物質試行 52:DUBHOUSE》(七里圭監督との共同作品/35mm/20 分/2012)、《物質試行 58:A RETURN OF BRUNO TAUT》(三宅唱監督との共同作品/BD/20 分/2017) ほか。

※フィルム作品も Blu-ray 又は DVD での上映となります。

日時：10 月 8 日(日)13 時～17 時

場所：埼玉県立近代美術館 講堂 (2 階)

主催：埼玉県立近代美術館

参加費：1,500 円

定員：一般 35 名 (応募多数の場合は抽選)

申込み方法：往復はがき (一人一枚) に返信宛名を記入し、「平成 29 年度美術館講座＜映像の可能性＞参加希望」と書き、郵便番号、住所、氏名 (ふりがな)、年齢、電話番号 (連絡先) を明記の上、当館「美術館講座担当」まで。募集受付期間は平成 29 年 8 月 25 日 (金) から 9 月 10 日 (日) まで (必着)。